

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「岩村田商店街は復興支援を忘れないー高校生と支援を継続します」事業
事業主体 (連絡先)	岩村田本町商店街振興組合 (0267-54-8339)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,684,580円 (うち支援金:1,976,000円)

### 事業内容

- 1、「高校生による復興支援 イベント」  
実施日：平成29年7月15、16日
  - 2、「いわんだ花市 高校生による復興支援祭 第二弾」  
実施日：平成29年8月12日
  - 3、「大船渡復興支援市」  
実施日：平成30年2月11日
- 佐久平総合技術高校生や鹿島学園高校の生徒が、商店街で最も集客できる場を活用して、それぞれの特徴ある復興支援にちなんだ、店舗を出店、継続した復興支援を行っているということをアピール。その収益を「復興支援金」として被災地の方に進呈。



【復興支援イベント】

### 【目標・ねらい】

- ①高校生が復興支援という社会的課題に取り組む
- ②イベントを自主的に運営する
- ③成果を被災地の人に伝える

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①被災7年目という中で、被災地以外の一般高校生には忘れ去られていく傾向が顕著な中で、一年間のさまざまなイベントの取り組みの根幹を「復興支援に置く」ことが目的を明確にする上で有効であった。
- ②どうやって復興支援の気運を継続して盛り上がるか、を自分たちで企画し、ミニ動物園や pepper のアプリ発表会、新製品の販売など、高校生にしかできない取り組みが実現した。
- ③収益を「岩手県大船渡市 綾里漁協小石浜青年部」の方に直接手渡すことができた。

※自己評価 【 A 】

### 【理由】

様々な形で、高校生が商店街というステージを使い、年年企画を変えながら、佐久地域の人々に「復興支援を忘れない」を継続して持っただけ協力していただけた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

被災地の復興状況は、7年経っても、まだ道半ば。応援する立場のわれわれが、そのことを決して忘れてはならず、それも、若い高校生がその意義を先輩から後輩へとつなげていることに意義がある。そのステージを「岩村田商店街」が提供することでその効果は計り知れないものとなっている。商学連携の仕組みはできてきた。これらに事業を通して、「街を愛する若者」を増やすことにもつながり、「この街を盛り上げる力」に育っていく。岩村田商店街はそれをバックアップする形で事業を発展的に継続させたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある